# 地域サポートで児童虐待を防ぎましょう！

## 児童虐待防止

子どもたちの健全な心身の成長に悪影響を及ぼし、大切な命を奪うこともある児童虐待。虐待から子どもたちを守るためには、地域において虐待を早期発見し、子育てをする家庭を見守ることが大切です。

子どもたちに身近に接する学校や病院などの施設だけではなく、同じ地域に暮らす一人一人が児童虐待を受けた子どもを発見したときは間違いを恐れずに児童相談所や市町村相談窓口に通告（相談）することが虐待を防ぐ第一歩となります。

児童虐待は、家庭の中で解決することが困難です。子どもからのSOSに周囲の人が気付くこと、そしてそれを通告（相談）することで子どもたちを虐待から守りましょう。

**◎問い合わせ**
子育て介護課
☎内線305・306

## 子育て中・そしてこれから母になるあなたへ ③

### 子どもとの毎日
### 「子育てが難しいと感じているのはわたしだけ？」

Ａさんは１歳のＢちゃんのママです。自我が芽生えてきたBちゃんは、食べ物の好き嫌いがでてきて、思うように食べなくなってしまいました。せっかく作ったものもポイッと投げたり、いくらダメと言ってもテーブルに乗ってしまうし、なかなかママの言うことを聞いてくれません。「気がつくと朝から晩まで叱ってばかり。いけないと分かっていても時には感情的になってしまって、寝顔を見ては反省の毎日…。」と話してくれました。母親なら誰もが抱く思い、そしてそんな時期なのかもしれません。

子育ては一朝一夕に解決することができないことばかりです。子育て支援センターでは、そんな時期の過ごし方について、一緒に考え、本来の自分を取り戻すためのお手伝いをしたいと考えています。

Ａさんは「今日も朝からぐずぐず言うし、二人で顔をあわせていると良くないと思って。」と言って、支援センターにやってきます。午前中いっぱいＢちゃんの相手をしながら、居合わせたママたちやアドバイザーとおしゃべりをして、「午後はぐっすり寝て欲しいな。」と言って笑顔を残して帰っていきます。

支援センターは一人ひとりの母の気持ち（ホンネ）を話せる場です。月曜日から金曜日まで、毎日開いていますので、お気軽にご利用ください。

10月20日
子育てフォーラムの模様

**― 子育て支援センター ―**

▶**開館日**：毎週月曜日～金曜日
▶**相談時間**：午前９時～午後５時
※つどいの広場の利用時間は午前10時～午後３時
※アドバイザーが研修等により、休館となる場合がありますので、休館日は広報お知らせ版及びホームページで確認してください。
▶**ところ**：〒259－0103　大磯町虫窪７
▶**アクセス**：JR大磯駅よりバス20分（馬場・虫窪経由二宮駅北口行き）、「素心学園前」または（湘南大磯住宅行き）「神奈中ストアー前」バス停で下車

**◎問い合わせ**　子育て支援センター　☎・FAX(71)3377